

経営比較分析表（令和6年度決算）

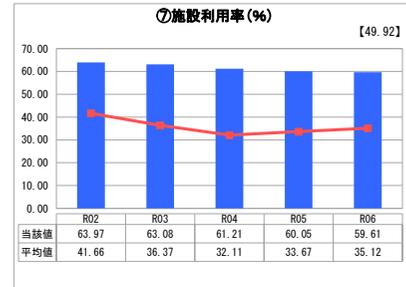
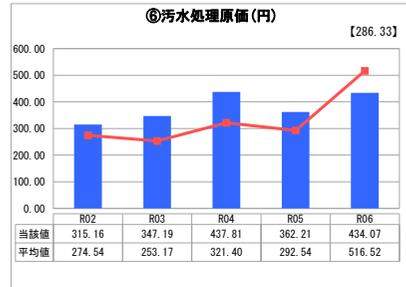
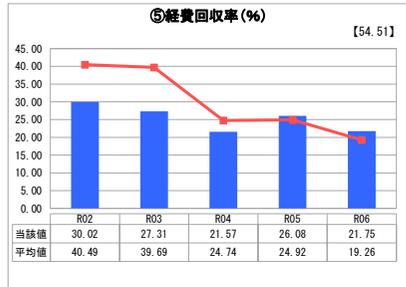
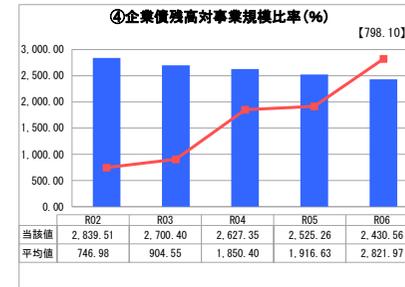
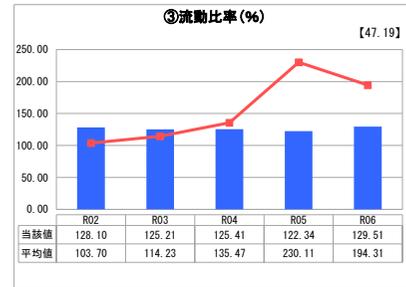
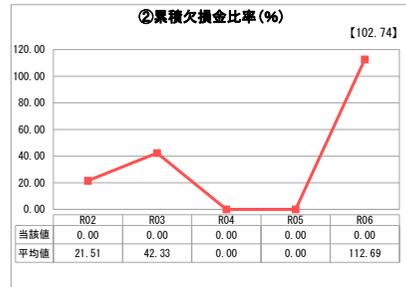
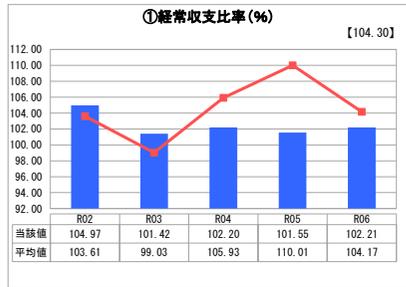
神奈川県 平塚市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.03	1.05	95.38	1,998

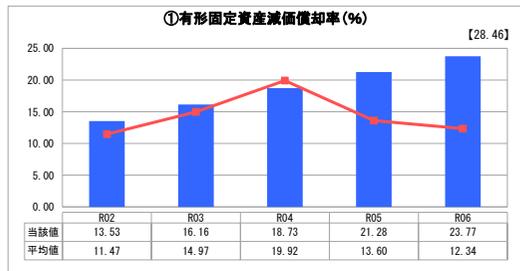
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
256,549	67.83	3,782.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,684	1.24	2,164.52

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、全国平均及び類似団体平均値は下回っていますが、前年度から0.66ポイント増加し、健全経営の水準とされる100%超を維持しています。
 ②流動比率は、前年度から7.17ポイント増加し、類似団体平均は下回りましたが、全国平均を上回りました。
 ③企業債残高対事業規模比率は減少傾向にあり、類似団体平均値を下回りましたが、全国平均は大きく上回っています。事業の概成により企業債は償還額以内での新規借入れに努めています。
 ④経費回収率は、前年度から4.33ポイント減少し、全国平均を下回りましたが、類似団体平均値は上回りました。今後、人口減少に伴う使用料収入の減少が見込まれるため、コストの縮減や業務の効率化に一層努めていく必要があります。
 ⑤汚水処理原価は類似団体平均値を下回り、⑦施設利用率及び⑧水洗化率は全国平均及び類似団体平均値を上回りました。引き続き、未接続世帯に対する接続促進に取り組み、有収水量の増加に努めるとともに、様々な課題を中長期的な視点で検討する必要があります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管渠老朽化率及び③管渠改善率について、事業概成により新たな固定資産の取得がないこと、また、事業供用開始からの経過年数が15年を超えた程度であることから、現状では老朽化に関する喫緊の課題は発生していません。当方は施設の管理を適切に行い、施設の安定稼働に努めます。

全体総括

平均を上回る指標もありますが、高い汚水処理原価となっている経費を一般会計からの繰入により補っている非常に厳しい経営状況です。
 当方は、接続率向上等の課題に取り組み、経営の効率化を図りながら、中長期的には、農業集落排水事業の今後の方向性などについて検討を行い、下水道サービスの持続的・安定的な提供に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。